

小児難治性腎疾患治療研究会

学術講演会

プログラム・抄録集

会期 : 2019年6月21日(金) 午後7時00分～午後9時00分

会場 : ウィンク愛知 12階 「会議室1201」

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38

小児難治性腎疾患治療研究会

代表世話人 石倉 健司

副代表世話人 中西 浩一

事務局 濱田 陸

「小児難治性腎疾患治療研究会」 － 学術講演会会場のご案内－

【学術講演会】

日時：2019年6月21日（金） 午後7時00分から午後9時00分まで

場所：ウィンク愛知 12階 会議室 1201

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38



プログラム

1. 開会のご挨拶 19:00～
神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野 飯島 一誠先生
2. 事務局連絡 19:05～
東京都立小児総合医療センター腎臓内科 濱田 陸 先生
3. 小児難治性腎疾患の臨床研究 19:10～
座長 名古屋第二赤十字病院小児科 後藤 芳充先生
- ① 「ステロイド抵抗性小児ネフローゼ症候群を対象としたシクロスポリン+プレドニゾロン併用療法とコハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム+シクロスポリン+プレドニゾロン併用療法の多施設共同非盲検ランダム化比較試験（JSKDC02）」
演者 横浜市立大学発生成育小児科医療学講座（小児科学） 伊藤 秀一先生
- ② 「重症小児紫斑病性腎炎の全国疫学調査結果」
演者 東京都立小児総合医療センター腎臓内科 寺野千香子先生
4. トピックス 19:40～
座長 東京都立小児総合医療センター腎臓内科 濱田 陸 先生
「IPNA Clinical Practice Recommendations -SRNS- 作成課程と課題」
演者 琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座 中西 浩一先生
- 休 憩
5. 特別講演 20:00～
座長 北里大学医学部小児科学 石倉 健司先生
「カナダにおける臨床研究教育と国際共同研究～McMaster 大学大学院での経験を踏まえて腎臓領域等での実践の検討を目指して～」
演者 国立成育医療研究センター新生児科 諫山 哲也先生
(共催 ノバルティスファーマ株式会社)
6. 閉会のご挨拶 20:55～
東京都立小児総合医療センター臨床研究支援センター 本田 雅敬先生

「カナダにおける臨床研究教育と国際共同研究 ～McMaster 大学大学院での経験を踏まえて腎臓領域等での 実践の検討を目指して～」

国立成育医療研究センター 新生児科 診療部長 諫山 哲也

私は、日本で小児科医、新生児科医として研修した後、カナダのトロントへ留学し、新生児集中治療室の臨床フェローとして勤務する傍ら、Maternal-Infant Care Research Centre という研究所で研究を行いながら、トロント近隣のハミルトンにある McMaster 大学の臨床疫学統計学部の大学院に入学し、PhD 課程を修了しました。McMaster 大学は、1887 年創立のカナダの名門大学で、特に、医学教育と臨床疫学の分野で、世界をリードする大学のひとつとして有名です。このたび、小児腎臓の専門の先生方に話をさせていただく機会を頂き、私のカナダでの経験をお話させていただくことで、皆様の日々の腎臓病の診断、治療、予防にお役立ていただき、今後の臨床研究やその教育についても考える材料となればと思っております。McMaster 大学大学院の PhD 課程は、約 4 年間の課程で、前半で、臨床疫学の授業を 7 コース以上修了し、3 年目で COMP という研究トレーニングコースを修了し、4 年間の間に 3 つの論文を含む博士論文を書き上げることが条件となります。私は、この過程を通して、4 つの筆頭著者論文（うち Thesis が 1 論文）、4 つの共同著者論文を出版し、現在、Thesis の他 2 論文は雑誌に投稿中です。これらに加えて、国際共同研究を中心に、3 つの筆頭著者論文と、5 つの共同著者論文を出すことができました。カナダでの大学院の教育、臨床研究サポート体制、は素晴らしいものがありました。大学院に関しては、メンター制度の充実、優れた研究指導法、臨床研究方法論の専門家による最先端の情報の授業と彼らとの共同研究、Discussion 中心の授業、論文に直結する授業構成、キャリア形成のサポートの充実、などがありました。また、私の場合は、これと同時に国際共同研究に関わることで、研究の幅が広がりました。今回、若い先生もおられると思いますので、カナダで臨床医として働くことなどについても紹介し、腎臓病領域でどのように実践できるかをご検討いただければと思います

略歴

1989 年 熊本県立 熊本高等学校卒
1995 年 京都大学理学部卒（物理学科）→1997 年同大学院修士課程修了
2003 年 京都府立医科大学卒 小児科医局にて研修
2008-2010 年 大阪府立母子保健総合医療センター 新生児科 医員
2011-2012 年 トロント大学 小児科新生児部門 臨床フェロー
2013-2017 年 トロント サニーブルック病院 新生児部門 臨床フェロー
2013-2017 年 McMaster 大学臨床疫学統計学部 PhD 課程（2015 年 MSc 課程より移行）
2013-2017 年 Maternal-Infant Care Research Centre 研究フェロー
2017 年-現在 国立成育医療研究センター 新生児科 診療部長
【専門医】 小児科専門医
【役職】 国際蘇生法協議会タスクフォース、周産期新生児学会 評議員